

角田市総合教育会議 会議要旨

会 議 名	令和元年度第1回角田市総合教育会議
開 催 場 所	角田市役所301会議室
開 催 日 時	令和元年7月23日（火） 13:15～14:00
出席者名簿	13名（別紙のとおり）
事 務 局	総務部企画財政課
<p>（次 第）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 開会あいさつ（市長） 3. 協 議 <ul style="list-style-type: none"> ・角田市学校適正規模適正配置に関する将来構想（検討たたき台）について 4. その他 5. 閉会あいさつ（教育長） 6. 閉 会 	
<p>（会議要旨）</p> <p>市長あいさつ</p> <p>本日はお忙しい中、令和元年度第1回角田市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>教育委員会の皆さまには、日々、子どもたちの教育の充実、健全育成のためにご尽力いただき、心から感謝申し上げます。</p> <p>現在、国における地方創生事業の流れとして、第2期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直し作業が活発化しております。国が策定する「総合戦略」を踏まえ、本市においても第2期総合戦略の検討に入ることとなります。</p> <p>また、時期を同じくして新たな角田市長期総合計画の検討作業に入ることになり、その策定にあたっては、本市における人口の現状と将来の展望を提示する「人口ビジョン」を踏まえて検討していくことが何よりも重要となります。</p> <p>こうしたことから、これまで総合教育会議等で議論を交わしてきた「学校の適正規模・適正配置の検討」は、今後の角田市の将来像を見据えるためにも非常に有用なものであると考えております。</p> <p>本日は、『角田市学校適正規模・適正配置に関する将来構想（検討たたき台）』について議論を交わしていきたいと考えております。</p> <p>皆さんと、共に協議を重ねることが重要でありますので、十分ご議論いただき、実りある第1回総合教育会議にさせていただきますようお願い申し上げます。</p> <p>協 議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角田市学校適正規模適正配置に関する将来構想（検討たたき台）について <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">説明要旨</div> <p style="margin-top: 10px;">平成31年3月20日に角田市学校適正規模に関する将来構想見直しに係る基本方針（案）</p>	

を作成した後、市内18か所で説明会を開催し、今年度に入ってから学校適正規模検討委員会を3回開催した。その中で、「たたき台のような案が示されれば意見が出やすいのではいか」という意見が少なからずあったことを踏まえ、第9回学校適正規模検討委員会において、今回お示ししている資料（検討たたき台）を提示して、議論をしていただいた。

資料及び議論の内容等については、次の通り。

○角田市学校適正規模・適正配置に関する将来構想【具体案（検討のたたき台ベース）の考え方】

- 1 急激な人口減少、少子化を現実的なものとして将来の教育環境を考える。
- 2 学校は、一定規模の集団教育ができる環境が望ましい。
- 3 大規模な施設整備（新設・大規模改修等）は、将来の児童生徒数を見据える。

※これまでの検討委員会での議論、アンケート調査の結果を踏まえての考え方として整理したもの。

○角田市学校適正規模・適正配置に関する将来構想【具体案（検討のたたき台ベース）】

このたたき台は、第1次から第3次の行動計画で構成されている。

第1次行動計画では、複式学級の解消のため、令和3年4月から東根小学校を桜小学校に統合し、西根小学校を北郷小学校に統合するものである。また、小規模学校による免許外教科担任教員による授業の解消と部活動の充実のため、金津中学校を角田中学校に統合するものである。

第2次行動計画では、第1次行動計画において金津中学校を角田中学校に統合することとなった場合において、施設の長寿命化計画の個別診断により、改修が可能となった場合に、金津中学校を校舎として、枝野小学校の複式学級の解消を目的に、令和5年4月より、枝野小学校と藤尾小学校の統合を行うものである。

第3次行動計画については、令和10年から令和15年に実施するものであるが、その時点における市の少子化の現状及び市の財政状況等を踏まえ、改めて検討・検証すべきものである。内容としては、角田中学校と北角田中学校を統合し、旧角田女子高跡地に新設するものであり、県からの情報によると、来年度には旧角田女子高校舎が解体予定とのことであり、旧角田女子高跡地と角田中学校を等価交換する前提での案となる。

○第10回角田市学校適正規模検討委員会での意見概要

【たたき台について】

- ・複式学級について、早急に対応が必要ではないか。

【小中一貫校について】

- ・第3次行動計画の前に検討するという案なので、その時に少子化の現状等を考慮した上で再度話し合ったほうが良い。

【今後の議論の進め方】

- ・劣化診断後に最終報告をすべき。
- ・複式学級・免許外教科担当の解消は絶対に必要だ。

○東根小学校PTAでのアンケート調査

【賛成意見】

- ・複式学級は解消してほしい。学力や友達のことを考えれば必要だ。

【反対意見】

- ・話が急すぎてついていけない。先の話だと思っていた。母校がなくなるのは寂しい。

協議要旨

・今回、「検討たたき台」を示した上で、学校適正規模検討委員会等において議論していただいたことで、少子化を現実的に捉えている状況が把握できたため、先延ばしできない課題であることが確認できた。

・これまでの議論を踏まえ、それぞれのメリット・デメリットを明確に整理し、一定の方針を示しつつ、さらに議論を深め、全体的な方向性を見出し、適確に対応していくことが重要である。

出席者名簿

○会議構成員（6名）

市長 大友 喜助

〔教育委員会〕

教育長 佐山 富夫
教育委員 毒島 弘美
教育長職務代行者 星 文和
教育委員 安藤 正夫
教育委員 太田 京子

○説明者その他（2名）

教育次長兼教育総務課長 森山 旭
生涯学習課長 高橋 喜隆

○事務局関係（5名）

総務部次長兼企画財政課長 玉渕 和紀
総務部企画財政課課長補佐 鳴原 勝美
教育総務課課長補佐 森 敦
生涯学習課課長補佐 穴戸 早苗
総務部企画財政課企画調整係長 齋藤 謙

(敬称略・順不同)